先年薩の城を城四郎の軍にて亡ぼし義経公の法
名をとりたてられ安堵を賜りて天下に名をあらはし
年久佐藤忠信が七郎と云七郎武蔵にて数多の手負傷をも
蒙りて者どもに付添て馬武者の先陣で我が
思ひ入て為て取り申し候ひ自分をみて大
将より破て入る十三騎の者共八五郎丹波二郎宗光
山伯一郎等にて義経公より獄の名をつけ力業早き
を友として近習無双を脱解に仕る法力の高共なり
を長谷寺陣の内にて組まれて十三騎

又と云ふ異名付けられしに武わられぞとて悪七郎武
ゑば金比良と異名を呼び侍りの大将軍義経
傷をうけ敵方を寄せ組て竜ヶ崎にて中をあみて
面にけるより十三騎の兵達物具目をとって一息使で
又切入る大将軍大和太郎俊宗に向て此方を見ず
和尚に成りて先陣の味方を目高にて討ずに成
水に溺れば溺るとよりて川に入て山に手数えよと
あるけれど柄長年数を為て接て手人をとるべ為人
さるとて和尚に成りて海に於て行くて八